

社外からの評価・表彰・クレーム

富士フィルムホールディングス「グローバル・レポーターズ2006 ワールドベストプラクティス50社」に選定される

企業のサステナビリティレポートに関する国際的なベンチマーク調査である「グローバル・レポーターズ2006」において、リーダー企業50社に選定されました。今回、国内企業では5社が選定に入り、国内メーカーとしてはトップの評価を受けました。

環境コミュニケーション大賞「持続可能性報告優秀賞」を受賞 (3年連続受賞)

「富士フィルムグループ 社会・環境レポート2006」は、環境省、(財)地球・人間環境フォーラムが主催する「第10回 環境コミュニケーション大賞」において、「持続可能性報告優秀賞(地球・人間環境フォーラム理事長賞)」を受賞しました。ステークホルダーとのコミュニケーションを高め、外部の評価を受け入れて事業に反映しようとしている姿勢などが分かりやすく報告されている点、レポートの内容が細部にわたって充実している点などが評価され、第8回から続いて3年連続の受賞となりました。

第10回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞 「最優秀賞」を受賞(3年連続入賞)

「富士フィルムグループ 社会・環境レポート2006」は、東洋経済新報社、グリーンリポート・フォーラム共催の「第10回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞」のサステナビリティ報告書賞部門で、「最優秀賞」を受賞しました。

ステークホルダーの識別をきちんと行い、それぞれへの対応やフィードバックを分かりやすく開示した点、サステナビリティ会計として社会面のコストを開示した点、製品を通じた社会貢献が伝わる編集が高く評価され、第8回「優良賞」、第9回「優秀賞」に続き、今回は「最優秀賞」を受賞し3年連続の受賞となりました。

富士ゼロックス 経済産業省主催 第17回省エネ大賞 「省エネルギーセンター会長賞」を受賞(8年連続受賞) P.21

富士フィルム富士宮工場 PRTR大賞2006「優秀賞」を受賞

富士フィルム 富士宮工場は社団法人環境情報科学センターが主催するPRTR大賞2006において、「優秀賞」を受賞しました。富士宮工場が化学物質管理規定を定め、リスク評価に基づく化学物質管理の実施や地域住民とのリスクコミュニケーションを積極的に実践している点が評価されました。

富士フィルム・鈴鹿富士ゼロックス 日本環境経営大賞 「環境プロジェクト賞」・「環境経営優秀賞」を受賞

日本環境経営大賞表彰委員会が主催する「第5回日本環境経営大賞」において、富士フィルムが「写ルンです」の循環生産システムにて環境価値創造部門の「環境プロジェクト賞」、鈴鹿富士ゼロックスが環境経営部門において、環境性、経済性、社会性において総合的かつバランスのとれた持続可能性の高い経営を実践している組織として評価され、「環境経営優秀賞」を受賞しました。

富士ゼロックス香港 香港サステナブル・コミュニケーション協会より、Eco-Pages 2006エコ・プロダクツ部門のエコ・チャンピオンに選定される(2006年6月)

富士ゼロックス岩槻事業所「さいたま環境賞 彩の国エコアップ大賞」を受賞(2007年3月)

富士フィルムグループのCSR活動に対する外部評価

富士フィルムグループは、「持続可能な発展」に向けたCSR活動を積極的に推進している企業グループとして、外部機関より以下の評価を受けています。

- FTSE 4Good Global Indexへの組み入れ
- Dow Jones Sustainability Indexes 2007への組み入れ



法規制の順守状況とクレーム報告

2006年度の環境関連の法令違反は0件、クレームは以下11件でした。その内容は騒音や振動などで、いずれも直ちに対策を講じ、住民の皆様にご説明を行いご理解いただきました。従来以上に管理を徹底し再発防止に努めます。


▼ 2006年度の環境関連のクレーム

富士フィルム 開成地区	騒音 2件
内容：近隣住民の方より先進研究所における騒音のクレーム。 対応：北側スクラパーの防音対策を実施し、効果を確認しました。	
富士フィルム 朝霞地区	騒音 1件
内容：近隣住民の方より蒸気配管修理に伴う、蒸気排出による騒音のクレーム。 対応：配管位置を変更しました。今後は工事内容を確認の上、対策を工事業者へ周知しました。	
フジノン佐野	異臭 1件
内容：脱臭装置から発生した異臭に対して近隣住民の方よりクレーム。原因は脱臭装置内の活性炭が寿命になり、臭気が発生したためと判明。 対応：応急処置として活性炭を交換し、住民の方へ報告しました。 その後、脱臭装置の管理手順書を制定し、日常点検方法、定期点検の方法を明確に定めました。	
富士テクニクス	騒音 1件
内容：工場東側で夜間に大きな音がして、ゆっくり眠れないと近隣住民の方より苦情。 対応：パッケージ循環ポンプのベアリング不良による異音発生が原因と判明。 当日ベアリングを交換しました。	
富士ゼロックス 海老名事業所	騒音 1件
内容：建屋屋上設置の回転機器(排気設備のベアリング)からの異常音に対する、近隣住民の方より騒音のクレーム。 対応：暫定処置として、ベアリングを交換。機器の予防保全が十分でなかったことが原因であったことから、管理手順書に機器点検頻度のアップ(1回/4ヵ月→1回/1ヵ月)及び定期メンテナンスの実施(1回/年)を追加しました。	
富士ゼロックス 竹松事業所	騒音 1件
内容：事業所東側に隣接する富士フィルム先進研究所から騒音がすると、近隣住民の方よりクレーム。 富士ゼロックスでも騒音測定を実施した結果、深夜騒音が61dBあり県条例基準値52.5dBを超えていた。発生源は屋上に設置した送風機排気口からの騒音(99dB)と判明した。 対応：送風機排気口内面に防音材を取り付け、深夜騒音を条例基準値以下の50dBに改善しました。	
富士ゼロックス イメージングマテリアルズ	騒音 1件
内容：ボイラー安全弁作動音に対する、近隣住民の方より騒音のクレーム。 対応：改善工事を実施、ボイラー運転作業手順書に準じて妥当性を確認しました。	
富士フィルムオプトマテリアルズ	騒音 2件
内容：「夜間にドーンという音がする」という近隣住民の方より騒音のクレーム。 排水処理設備のシャロートレイ脱泡槽の変形が原因と判明。 対応：応急処置として、常時シャロートレイの送風機が運転するようにし、その後補強工事を行い、槽の変形を防止して騒音をなくしました。	
内容：「排水処理設備の蒸気の排出音が大きく、夜、寝付けなかった」という近隣住民の方の騒音クレーム。 嫌気排水処理設備の加温蒸気トラップが詰まった際に設けた、パイパスから排出される蒸気の音が原因と判明。 対応：応急処置として蒸気トラップを整備し、後に防音カバーを設置しました。	
FUJIFILM do Brasil Ltda.	騒音 1件
内容：コンプレッサーの騒音に対する近隣住民の方からの苦情。 対応：騒音を確認し、騒音を防ぐ対策を講じました。	

レポート読者の皆様および富士フィルムホールディングス株式会社へ

AA1000保証基準の観点による第三者の評価コメント

2007年7月13日

株式会社あらたサステナビリティ認証機構 

1. 評価の対象と目的

私たちは、富士フィルムホールディングス株式会社（以下、会社）の依頼に基づき、「富士フィルムホールディングスサステナビリティレポート2007」（以下、本レポート）を評価しました。この評価の目的は、会社が、ステークホルダーに対して、富士フィルムグループのCSR活動を適切に本レポートで情報開示しているかを、英国の社会倫理アカウンタビリティ研究所（The Institute of Social and Ethical Accountability）が2003年に発行したAA1000保証基準に定めるAA1000基本原則「重要性、完全性、対応性」の観点で、独立した第三者として評価し、コメントを述べることです。

重要性：ステークホルダーが判断、意思決定、行動するために必要なサステナビリティ・パフォーマンスに関する情報を報告書に記載すること
完全性：サステナビリティ・パフォーマンスの重要な事項を識別し、十分に理解していること
対応性：ステークホルダーにとって重要な事項、方針、および関連する基準に対応し、その対応状況を報告書で開示すること

2. 評価の考え方

私たちは、2004年からAA1000保証基準の基本原則の観点で、会社がステークホルダーのニーズに対して説明責任を果たしているか、またその期待に応えているかを評価してきました。この間、会社は、CSR活動の基盤を強化するため、ステークホルダーとの対話、AA1000のフレームワークの導入、情報収集などによって、レポートの充実を図っています。私たちは、富士フィルムグループのCSR活動が本レポートにおいて適切にステークホルダーに情報開示されているかどうかを継続して評価しています。

3. 評価方法と手続

私たちは、昨年までの評価項目、過去のレポートの記載項目、ステークホルダー・ダイアログの結果から会社とステークホルダーにとって重要と思われる項目を19項目抽出しました。そして、富士フィルムグループのCSR活動が、本レポートにおいて適切にステークホルダーに情報開示されているかどうかについて、AA1000保証基準のAA1000基本原則の観点から、次のような方法で本レポートの評価を行いました。

重要性についての評価：

AA1000保証基準では、重要性を判断する際に考慮するパラメーターとして、「コンプライアンスに関するパフォーマンス」、「方針に関するパフォーマンス」、「同業者を基本とした規範」、「ステークホルダーを基本とした重要性」の4つを示しています。私たちは、上記の19項目それぞれについて、4つのパラメーターのうちいくつをカバーしているか、を検討して、重要性を評価しました。

完全性についての評価：

AA1000保証基準では、完全性を判断する際に、サステナビリティ・パフォーマンスを識別し、理解すべき範囲として、「経営上・法律上の責任が伴う事業活動、製品、サービス、組織」を示しています。私たちは、上記の19項目について、開示情報がカバーする組織の範囲（「全グループ会社」、「国内グループ会社」、「富士フィルム株式会社」、「明確でない」）を検討し、開示情報の完全性を評価しました。

対応性についての評価：

私たちは、上記の19項目について、その対応について具体的に本レポートで開示されているかどうかを検討し、開示情報の対応性を評価しました。

私たちは、本レポートの作成過程を通じて、次の手続により、評価を実施しました。

- 本レポートの構成案、中間原稿、最終原稿の閲覧
- ステークホルダー・ダイアログや読者意見交換会への立会い
- 担当者へのヒアリングおよび関連資料の閲覧
- 経営者層へのインタビュー

4. AA1000保証基準の観点による評価結果

本レポートの記載内容について、AA1000保証基準のAA1000基本原則「重要性、完全性、対応性」に関する私たちの評価の結果は以下の通りです。

「重要性」については、19項目のうち4つのパラメーターに対応するのは2項目、3つのパラメーターに対応するのは7項目、2つのパラメーターに対応するのは、10項目でした。すなわち、19項目の全てが、4つのパラメーターのうち、2つ以上のパラメーターに対応して

います。私たちは、会社は、ステークホルダーとの対話を継続的にしながら、ステークホルダーにとって、重要な項目の情報を開示してきたと評価します。

「完全性」については、19項目のうち、「全グループ会社」を対象としているのは8項目、「国内グループ会社」を対象としているのは7項目、「富士フィルム株式会社」を対象としているのは3項目、「明確でないもの」は1項目でした。特に「環境活動」に関しては、全グループ会社を対象としています。会社は、CSR経営をグループ全体で推進するために、CSR委員会を設置し、富士フィルムグループ共通の企業行動憲章、行動指針、CSRの考え方を明確にしています。今後の課題は、会社が、グローバル企業として海外グループ会社のCSR活動をより詳細に把握し、開示していくことです。また、従業員に関する「人事・教育研修」、「多様性と機会均等」、「労働安全衛生」は、富士フィルム株式会社のみを開示対象としているため、今後は、開示範囲を拡大することが望まれます。

「対応性」については、「生物多様性に関する方針」以外の18項目は具体的に情報を開示しています。会社は、ステークホルダーの期

待に対応するために、ステークホルダー・ダイアログに取り上げたテーマや課題（31ページ）を、富士フィルムグループのCSR活動の推進や改善に役立てています。例えば、富士フィルム株式会社の「多様性と機会均等」に関するプロジェクトの実施（59ページ）、「CSR調達」におけるビジネスパートナーへの理解と周知の徹底（56ページ）、「コンプライアンス」意識調査の実施結果から従業員の意識の変化の把握並びに今後の解決すべき課題の明確化（40ページ）などについて、本レポートで情報を開示しています。「生物多様性に関する方針」については、2007年度に取組むことを予定しています。今後の課題は、「ステークホルダー・ダイアログを通じて、CSR活動を進化させながら推進するステップ（31ページ）」に基づいて、CSR活動を改善し、その進捗状況を開示していくことです。

「重要性、完全性、対応性」を、総合的に検討した結果、「従業員」の各項目並びに「地域住民との対話」について、海外グループ会社も含め、より詳細に把握し、重要性の高い情報を開示していくことが望まれます。

分類	項目	重要性	完全性	対応性	重要性の評価 (考慮しているパラメーター数)	完全性の評価	対応性の評価
		4つのパラメータ	開示の対象範囲	開示の有無			
経営	コーポレートガバナンス	■	■	■	4	■	■
	コンプライアンス&リスクマネジメント	■	■	■	4	■	■
	マネジメントシステム	■	■	■	4	■	■
お客様	お客様対応	■	■	■	4	■	■
	製品の安全管理	■	■	■	4	■	■
株主・投資家	IR活動	■	■	■	4	■	■
調達先	グリーン調達・含有化学物質管理	■	■	■	4	■	■
	CSR調達	■	■	■	4	■	■
従業員	人事・教育研修	■	■	■	4	■	■
	多様性と機会均等	■	■	■	4	■	■
	労働安全衛生	■	■	■	4	■	■
社会貢献活動	社会貢献活動	■	■	■	3	■	■
環境活動	グリーンポリシー	■	■	■	4	■	■
	環境配慮設計	■	■	■	4	■	■
	化学物質管理	■	■	■	4	■	■
	地球温暖化防止 省資源	■	■	■	4	■	■
地域住民	地域住民との対話	■	■	■	3	■	■
生物多様性	生物多様性に関する方針	■	□	□	1	□	□

○ AA1000保証基準の詳細は<http://www.accountability21.net>を参照ください。
 ○ 当評価コメントは、報告書の記載情報の収集と報告に関するプロセスの有効性や信頼性を保証するものではありません。

第三者審査報告書

富士フイルムホールディングス株式会社

代表取締役社長・CEO 古森 重隆 殿

2007年7月13日

1. 審査の対象と目的

私たち、株式会社あらたサステナビリティ認証機構は、富士フイルムホールディングス株式会社(以下、「会社」という。)からの依頼に基づき、会社が作成した「富士フイルムホールディングス サステナビリティレポート 2007」(以下、「同レポート」という。)に関して審査業務を行った。審査業務の目的は、同レポートに記載されている環境情報及び社会情報が、会社の方針及び基準に従って収集、報告されているかどうかについて独立の立場から結論を表明することである。

同レポートは会社の責任のもとに作成されたものであり、私たちの責任は独立の立場から結論を表明することにある。なお、同レポートは当社による第8期目の審査対象である。同レポートに記載されている環境情報及び社会情報のうち、1998年度以前に係わる情報は審査の対象とはしていない。

2. 実施した審査手続の概要

私たちは、「環境報告書審査基準案」(2004年3月制定 環境省)に準拠し、また、「過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務(ISAE3000)」(2003年12月改正 国際会計士連盟)を参考にして業務を行った。

審査業務において行った手続の概要は以下のとおりである。

- ・ 会社の全般的状況及び環境マネジメントに関する資料の閲覧、質問
 - ・ 同レポートに記載されている環境情報及び社会情報に関する、会社の方針及び基準の設定と運用の状況に関する質問
 - ・ 審査対象の測定、集計、報告される方法に関する資料の閲覧、質問
 - ・ 審査対象についてサンプリングしたデータと根拠資料の証憑突合、各根拠資料間の整合性の評価、分析的手続
- 選定した往査サイト

サイト名	主な機能
富士フイルムホールディングス(株) 本社	本社機能
富士フイルム(株) 吉田南工場	生産機能
富士フイルムエレクトロニクスマテリアルズ(株) 静岡工場	生産機能
富士ゼロックス(株) 本社	本社機能
同 竹松事業所	生産・開発機能

3. 審査の結果

審査の結果は、以下のとおりである。

- ・ 同レポートに記載されている環境情報及び社会情報が、会社の方針及び基準に従って収集、報告されていないと認められる重要な事項は、私たちが実施した手続の範囲では発見されなかった。

4. 独立性

会社と私たちの間には、「環境報告書審査基準案」及び公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

株式会社あらたサステナビリティ認証機構



代表取締役社長

山手 章

数字・A～Z

3R (リデュース・リユース・リサイクル) … 21、46、69、70
 AA1000保証基準・AA1000シリーズ … 5、87
 AIS (アーティクル製品環境安全情報シート)、AISplus … 53
 CSR委員会 … 39、40、67
 CSR調達 … 29、30、31、33、34、57
 CSRの考え方 … 28
 DNA抽出 … 14
 DocuCentre C2100 … 19
 DocuPrint C3050 … 21
 eラーニング … 56、57、61、85
 FCR (フジコンピュータラジオグラフィ) … 13
 F-POWERプロジェクト推進チーム … 32、34、59
 FRC (富士フイルムレスポンシブルケア) 委員会 … 67
 FTD … 11
 FUJIFILM SQUARE (フジフイルムスクエア) … 15、52
 FUJIFILM NEWS (事業報告書) … 54
 Fuji Xerox Art Space (富士ゼロックスアートスペース) … 15
 GHG (地球温暖化ガス) … 32、67、73
 GHS (化学品の分類及び表示に関する世界調和システム) … 46、53、68、71
 GRIガイドライン … 5
 IR情報開示方針 … 54
 ISMS (情報セキュリティマネジメントシステム) … 42
 JAMP (アーティクルマネジメント推進協議会) … 50、53、57
 Meet FUJIFILM … 54
 MSDS (製品安全データシート)、MSDSplus … 53、68、71
 PCB (ポリ塩化ビフェニール) … 79
 PL委員会 … 39、53
 PRTR法 (化学物質管理促進法) … 53、79、81
 QuickGene … 14
 REACH規則 … 46、48、57、66、68、70、71、72、85
 RoHS指令 … 48、50、53、56、57、66、70、71、72
 VOC (揮発性有機化合物) … 68、79
 WEEE … 48

あ～お

会えるんです … 52
 アスタキサンチン … 11
 アスベスト調査 … 61、72
 アニュアルレポート … 6、54
 アンテナショップ … 11、15
 育児休職 … 59
 医療 … 13
 「写ルンです」循環生産 … 21、64
 液晶ディスプレイ用材料 … 25
 エコアクション21 … 56
 エコステージ … 56
 エコマーク … 52
 エコリーフ環境ラベル … 52
 大型カラー操作パネル … 52
 お客様 … 50、51
 お客様コミュニケーションセンター … 42、50、51、52
 お客様への効果 … 83、84

か～こ

カーボンニュートラル … 52
 海外サイト … 45、46、47、48、77、78
 介護休職 … 59
 化学物質管理 … 71、72
 化学物質の排出削減 … 79
 化審法 … 72
 拡大教科書製作支援 … 23、62、82
 株主・投資家 … 6、50、54
 環境会計 … 83
 環境教育 … 85
 環境効率 … 67、68

環境担当者国際会議 … 66、85
 環境配慮設計 … 67、70
 環境品質 … 66、67、68、70
 環境フォーラム … 24、66
 環境負荷 … 67、69
 環境報告書ガイドライン … 5
 環境マネジメントシステム (EMS: ISO14001) … 43、56
 環境モニタリング … 68、81
 環境ラベル … 52
 含有化学物質管理 … 29、57、66、68
 かん養 … 25、26、77
 企業環境グリーン度調査 … 55
 企業行動憲章 … 27、38
 企業理念・ビジョン … 9、27、38
 技術サポートセンター … 51、52
 揮発性有機化合物 (VOC) … 68、79
 京都メカニズム … 74
 銀座Velvia (ヘルビア) 館 … 15
 苦情対応マネジメントシステム (ISO10002) … 29、51、53
 グリーン調達・グリーン購入 … 56、57
 グリーン・ポリシー … 47、67
 クレーム … 86
 グローバル・レポート … 86
 経鼻内視鏡 … 14、52
 健康づくり … 60
 公益信託 富士フイルム・グリーンファンド … 50、62、63
 購買品目 … 55
 購買方針 … 55
 高齢化社会 … 52、59
 コーポレート・ガバナンス … 37
 国際資源循環システム … 19
 個人情報保護 … 42
 コンビニ … 12
 コンプライアンス … 37、38、40、41

さ～そ

サービスステーション … 50、51
 再雇用制度 … 59、60
 採用 … 58
 サステナビリティ会計 … 82
 サプリメント … 11
 シニアコンシェルジュ … 52
 事業概要 … 7
 自己評価 … 29
 社会貢献活動 … 62
 社会貢献フォーラム … 23
 社外からの評価 … 86
 社内公募制度 … 61
 従業員 … 50、58、68
 従業員意識調査 … 60
 省エネ大賞 … 21、86
 障がい者雇用 … 34、59
 省資源 … 77
 消費生活用製品安全法 … 29、53
 情報塾 … 16、23
 情報セキュリティ … 42
 女性、女性管理職、女性の活躍支援 … 34、58、59
 人材育成 … 56、61、82
 ステークホルダー … 31、49、50
 ステークホルダー・ダイアログ … 5、31、33、34、50
 ストック休暇 … 59
 スペシャルオリンピックス … 23、63
 製品環境情報マスターデータベース … 70
 製品の安全管理 (PL) … 53
 生物多様性 … 31、33、34
 セクハラ・ホットライン … 60
 セブン-イレブン店頭プリント … 12
 ゼロエミッション … 19、20、22、46、67、78

総合危機管理委員会 … 39、53

た～と

第三者審査 … 5、87、89
 チーム・マイナス6% … 29、74
 地球温暖化防止 … 73
 調達先 … 50、55
 調達先グリーン基準・調達品グリーン基準 … 56
 天然ガス … 25、66、68、73
 トークチェックリスト … 52
 東京ミッドタウン … 6、15、22、74
 統合マネジメントシステム (IMS) … 29、43、44
 読者意見交換会 … 5、32

な～の

ナノテクノロジー技術 … 11、14
 野口 健 … 24、26
 能登半島地震 … 62

は～ほ

バイオスマーク … 52、53、74
 パルプ調達基準 … 56
 廃棄ゼロ … 19、46
 廃棄物 … 67、68、78
 端数倶楽部 … 23、62
 ピンクリボン運動 … 13
 品質マネジメントシステム (QMS: ISO9001) … 43
 富士ゼロックスエコマネージャークオリティ … 20
 フジノン … 14、81
 富士フイルムRIファーマ … 13
 富士フイルムウエイ (FW) 活動 … 29、58、61
 富士フイルム九州(株) … 25、44、73、77、78
 富士フイルム先進研究所 … 7、26、62
 物流 … 69、70、71
 プライバシーマーク … 42
 平均年齢・平均勤続年数 … 58
 ヘルスクエア … 11
 放射性医薬品 … 13
 ポリ塩化ビフェニール (PCB) … 79

ま～も

マネジメントシステム … 43、68
 マンモグラフィ … 13
 みらいグリーンマップ … 17
 メンタルヘルス … 60
 モーダルシフト … 69、75
 持株会社制 … 3、6、37

や～よ

有給休暇消化率 … 58
 ユーザビリティ評価会 … 52
 輸出管理 … 42
 ユニヴァーサルデザイン … 12、52
 容器包装材料 … 68、77

ら～ろ

ライトダウンキャンペーン … 74
 ライフサイクル … 19、21、67、70
 リスクマネジメント … 38、42
 リターナブル包装箱 … 76
 労働安全衛生 … 61
 労働安全衛生法 … 53、72
 労働環境・社会会計 … 82
 労働組合 … 60、62、64
 労働災害発生率・労働災害強度率 … 61

わ～ん

ワークライフバランス … 32、33、34、59